

アジア最大の肉食恐竜 タルボサウルス



陸の王者だった爬虫類 プレストスクス



岡山理科大 恐竜学博物館

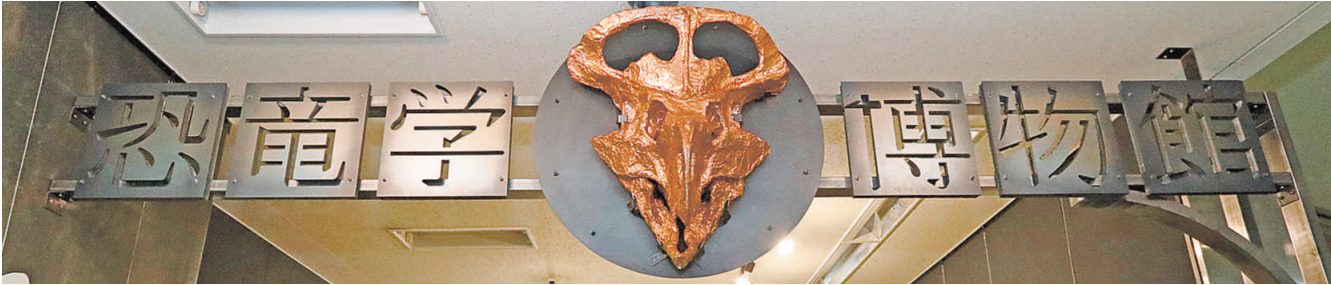
研究者気分で成果体感

岡山理科大（岡山市北区理大町）の「恐竜学博物館」の館長を務める石垣忍・同大教授は、さん太タイムズに「恐竜調査隊が行く」を連載しています。博物館では連載で紹介された最新の成果などが展示され、研究現場で研究者の気分を体感できます。

「人が空想した怪獣と違って、恐竜は間違いなく実在しました。その証拠が化石です。岡山理科大ではあらゆる先端科学を総動員して「生き物」としての恐竜を解き明かしています」と、石垣教授は語ってくれました。

一新した展示の中で、特に見応えがあるのが学生らの作った全身復元骨格。アジア最大の肉食恐竜・タルボサウルスは全長約10メートルの巨体を二本の足で支えて歩く姿が再現されています。恐竜の大繁栄より前に「陸の王者」だった爬虫類・プレストスクスは今にもかぶりついてきそうな迫力です。

他にも恐竜の姿や生態への想像力をかきたてる標本がたくさんあります。石垣教授は「博物館で研究者や学生と恐竜について語り合えるかもしれませんよ」と話しています。



巨大な足跡



植物食恐竜・サウロロフスのものとみられる足跡は原寸大。二足歩行の恐竜のものとしては世界最大級。恐竜の気分で上を歩いてみよう

プロトケラトプス 赤ちゃんの集団 幼体（赤ちゃん）の骨は小さく壊れやすいので、化石になるのは珍しいそうです。頭や足がどこか分かるかな？



ヨロイ竜・サイカニアの頭 体つきは明らかになっていません。どんな姿だったのでしょうか



岡山理科大学 恐竜学博物館

入館無料。開館時間は原則、月～土曜日の午前10時～午後4時45分。新型コロナウイルスの影響で一般向けの公開日程は未確定です。最新情報はホームページで確認してください。

恐竜学博物館 で検索